

ひまわりの声

題字は高森政雄区連会会長

編集・発行 港南区連合町内会長連絡協議会



高森政雄港南区連合
町内会長連絡協議会会長

信頼される区連会を目指して

自治会町内会の皆さまにおかれましては、いつも地域運営のためにご尽力をいただき誠にありがとうございます。さて、「区連会」の活動の目的は、自治会町内会が、行政機関と密接に協力しながら、港南区全域にわたって“安全に安心して生活できるまち”を創造していくことであると考えます。この目的達成には、区民の皆さんのご協力がぜひとも必要であり、そのためには「区連会」が信頼できるものとなるよう努力していかねばなりません。自治会町内会への加入率を高めることが、信頼のバロメーターのひとつであると思います。今回紹介する「大岡川クリーンアップ事業」のような取り組みは、多くの区民に自分の暮らすまちの地域活動に関わる機会をつくるものであり、加入促進につながる大変大きな効果があるとの印象をもちました。

新・地区連合町内会長を紹介します！

今年度、就任された3人の地区連合町内会長に、会長になった感想や今後の抱負をお聞きました。

日野連合町内会長

長 信男

日野は文字通り明るい土地柄、ひまわりが最も似合う地区だと自負しています。多くの先達のご尽力で地域の伝統と新しい世代感覚が融和し、諸行事で

育まれた絆が安全・安心・清潔なまちづくりに生きています。今年度は福祉保健計画の策定、地球温暖化対策など地道に継続してきた日常活動を整理・体系化することが課題です。社協と連携し、全役員が各事業分野を分担して推進します。そのための地ならしが私の役割でしょう。近年、行政の動向と財政事情から、地域ボランティアへの期待が増しています。私もその一人として微力を傾注します。

高校廃校・元マンモス小学校廃校・高校統合といつの間にか区内1・2位を競う超高齢化（65歳以上32%）団地となりました。この野庭に今後住み続けたい（84%）に答えられるよう、行政や規則によるおしつけでなく、“昔の長屋”の人情世界「人とのつながり・ふれあい・助け合い」の地域となるよう、社協・連合と一緒に話し合い、運営していきたいと思えます。

ひざり連合自治会長

鈴木 由香

初めまして。3人の子どもの子育てと私自身の親育てまで、ここ日限山でお世話になっております。ニュータウンも今や都市型限界集落を心配する時代。



右肩上がりの経済成長があたり前だった世代とは明らかに生活感の異なる子供たち。時代の変化を確実に捕え、今後10年を見据えた活動が求められています。地域の暮らしの達人の方々のお知恵をお借りしながら、若い力も巻き込み、次の世代に受け継がれる活動をしていきたいです。「日限山、良い街よ」と言われ続けるように。

野庭団地連合自治会長

東井 正典

私たちの連合は、10単位自治会、会員数2,054世帯です。全会員が、10階建て分譲住宅で暮らし、緑に囲まれた静かな団地です。



10年後には蛍がいる川にしたい!!

ふるさと港南の大切な自然・大岡川をきれいに「大岡川クリーンアップ」

子供達が「大岡川、細いながらも、母なる大河…」と慣れ親しんでいる大岡川の浄化・美化“大作戦”が実施された。

平成22年6月5日(土)、昭和58年にスタートし、既に27回の実績を誇ると同時に、今日、港南区での住民参加タイプのイベントとしては最大規模と言えるであろう「大岡川クリーンアップ事業」-青木橋より最戸橋に至る約1km-が実施された。

当日、上大岡連合から第一、第二、第三、第四、平和台の5自治会町内会、大久保最戸連合から西、中、東、最戸町友会、さつき台の5自治会町内

会。さらに上大岡駅を中心とする各商店街や大久保橋フラワーサポーターの会、明るい社会づくり運動港南区協議会、港南ライオンズクラブ等々の組織・団体の人々、並びに一般参加の人々、合計1247人が参加した。例年並みの参加者とのこと。

「区連会」として強調したいのは、大久保保育園の園児(約20人)、上大岡小、桜岡小、下永谷小の学童、ガールスカウト神奈川県第8団とボーイスカウト横浜第84団ボーイ隊の少女と少年の550人の参加があったことです。これらの子供達がいきいきと作業に取り組んでいる様子は、正に将来に希望が持てる光景でした。



清掃活動の様子



花苗の植え込み作業

従ってアンケートのテーマを今回の取材ポイントとしました。

大岡川クリーンアップは、笹野橋公園(本部所在地)で定刻9時30分にスタート、主催者各位、来賓各位の挨拶に続き、大久保保育園長 米井美恵子さんによる“河川の水質を浄化するのに誠に効果的とされるEM(有用微生物群)を含む泥団子”の説明後、9時45分、大久保保育園児と桜岡小、上大岡小、下永谷小の学童30人により泥団子の投入が行われた。

さらに同時進行的に、青木橋から最戸橋に至るプロムナードと遊歩道のポイント13ヶ所で全参加者がそれぞれ50人~100人のグループに分散、草むしり、河川内のゴミの回収、随所の擁壁に設置されている植栽ボックスに花苗を植え込む作業が展開された。

クリーンアップは12時、予定通りに終了。参加した人々は、自分達の活動の結果に大いに満足した様子で来年も参加することを誓い合っていた。



花苗植え込み後の様子

みんなでひたすら“歩く”…と健康・親睦・防犯が付いて来る!!

ひざり連合自治会内「西洗あるこう会」

のご紹介

去る5月9日、午後5時よりひざり連合自治会(鈴木由香 会長)を構成する単位の一つ、西洗自治会(日限山4丁目、690世帯)内で、個性的な活動をしている「西洗あるこう会 坂巻 武 代表」取材した。当日、参加の14人のメンバーは通常どおり約40分間、町内全域を3班に別れて“防犯”パトロールを実施。その後、自治会館で取材サイドとの懇談会を開催した。西洗あるこう会は、平成15年に、自分達の健康管理と住民相互の親睦を強化するため、その手段として、とにかく集団で“ひたすら歩く…”ということを目的に42人の会員で発足した。

その後、自治会より“防犯パトロール的要素を加味できないだろうか?”という要望があり、結局の所、殆ど連日の日没時の直前・直後、揃いのユニホーム姿で拍子木を叩きながら町内全域をパトロールする…という現行のスタイルが定着したとのこと。懇談会に出席した14人の会員は「西洗あるこう会が西洗防犯パトロール会となってしまった…」と苦笑していた。(→次ページに続く)



西洗あるこう会の皆さん



EM泥団子の投入

ガールスカウト神奈川県第8団の皆さん



アンケート

自治会	年齢	性別	自然に触れた感想はいかがですか。	10年後の大岡川はどの様になっていますか。どの様になって欲しいですか。
上大岡小	3年	男児	ゴミ拾いして、おもしろかった。	川の幅が今より広くなって、石渡りをもっとたくさん出来る様になるといいな。
	2年	女児	普段から自然がたくさん公園でドッジボールとか遊具で遊んでいる。川をきれいにしたい。	きれいにして魚が喜こんでくれる川にしたい。いろんな生き物が遊ぶ川にしたい。
桜岡小	(大久保東町内会) 5年	男児	参加は2回目です。植物や花を育てている。	水がきれいでいろいろな魚が住んでいて、蛍やトンボ、鳥もたくさん遊ぶ川
	(大久保東町内会) 6年	女児	初めて参加しました。ゴミを拾ってきれいになって、花を植えるのが楽しい。	ゴミがなくて自然がいっぱい。水がきれいで花がいっぱい。
下永谷小	(大久保西町内会) 5年	女児	4回目。毎年参加している・ゴミがなかなか無くならない。きれいになると嬉しい。慰霊堂の掃除にも参加している。	花や魚や鳥が一杯増えて、清掃しなくていつも水のきれいな川であって欲しい。川にゴミを捨てる人が無くなるといい。
	(大久保西町内会) 4年	男児	卒業生と一緒に学校の池や田んぼ、畑の自然を作るクラブに参加し、いつも自然に接している。	水がきれいになって魚が増える川になっている。カワニナ、タニシがいて蛍が住み付く川。
	(大久保西町内会) 3年	男児	ゴミ拾いして楽しかった。キリギリスが見つけれられてよかった。	鮎が上ってきたり、蛍がいる川になってほしい。
大久保保育園	女児		楽しかった。うれしかった。	お花やお魚が一杯。
	男児		団子づくりが楽しかった。川に投げるのが楽しかった。	昆虫がいっぱいでお魚とりがしたい。



地域住民による自主的な“安全と安心”を確保しようとする活動は、関係筋の熱心な支援もあり既に一般化している。しかし、どの地域でも、いわゆる社会性のあるボランティア活動の“最大の泣き所”として、後継者難が問題となっている。だが西洗あるこう会の場合、その心配が全くない様子。懇談会の席上、女性も男性も異口同音に「後継者問題は全く心配していない。私達が行き交う人々に挨拶をし、楽しそうに談笑しながらパトロールをしている姿を見て、次々と参加希望者が現れるのです…」と強調していた。肝心の犯罪件数も、毎年限りなくゼロに近いものであるらしい。“この街”の雰囲気は、落書き一つない整然とした印象。清潔で整然とした“街”には、家屋侵入犯人（空き巣や忍び込み）も



防犯パトロールの様子

近付き難いのだ…という“原理”の典型と評価できるのかも知れない。

地域に役立つ情報コーナー

港南区役所で聞きました。

地域主体のまちづくりを進めるため、地域に役立つ情報を港南区役所から聞くコーナーを設けました。今後はシリーズで掲載します。今回は、下村地域振興課長にお聞きしました。

「今年度区役所では、『地域の力と地域支援でつくる誰もが安心して暮らせるまち』を区政運営の基本目標として自治会・町内会や地域の各種団体による様々な自主的活動・取組を支援していくことにしています。

地域の少子高齢化の進展や近所づきあいの希薄化などによる様々な地域課題の解決を図るためには、まず地域の皆さんが自主的・主体的に取り組むことが大切だと考えています。

地域振興課では、そのような取り組みを実

施する皆さんからの相談や支援を区連会とも連携しながら行っています。自治会・町内会の活動でお悩みの時には、是非、地域振興課にご相談ください。」とのことでした。

【事務局から】

地域社会にとって最も重要なポイントは、区役所と区連会との強力な連携と考えます。そのためにも、地域住民が積極的に地域振興課と情報を共有し、活動することができれば幸いと考えます。

●問合せ

港南区地域振興課

(港南区役所29番窓口)電話847-8391

○次号の「区連会会報「ひまわりの声」No.6」は…

- 防災を体で感じる催し～笹下連合町内会の子ども防災体験キャンプ～
- スポーツで地域の輪づくり
～美晴台自治会、上永谷町内会、上永谷富士見台自治会の合同ペタンク競技大会～
- 夏祭りで活躍する子供たち～地域の夏祭り紹介～

等々です。お楽しみに!!

編集 後記

■本号では大岡川クリーンアップ事業に参加した550人の子供が「大岡川」に抱く希望と夢を取材しました。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は区連会事務局までお寄せください。 ■区連会会報担当 遠藤良一／中島淑子、

編集委員 松田英樹／筒井英子
(横浜市港南区港南中央通10-1
港南区役所地域振興課内
☎847-8391 FAX842-8193)